

# 平成 27 年度 文部科学省委託事業

超高齢社会における認知症患者に寄り添う医療・介護連携型の中核的鍼灸専門人材の育成

代表機関：学校法人後藤学園

## 成果報告書

### 第 4 章 調査報告

#### 第 2 節 YouTube 実証講座アンケート・自由記載アンケート結果

[基礎データ 8：感想・要望・提案等に関する自由記載アンケート結果]

番号	感想、本講座に対する要望、提案
1	臨床経験のない学生にもとても理解しやすく興味深く受講でき、認知症対策の重要性と、鍼灸師としての役割を知ることができました。
2	介護福祉系講座において、鍼灸師として認知症に対応する際に一番効果が大きいのはコミュニケーションの部分が大半を占めるというところは少し違和感をおぼえました。東洋医学系講座において、鍼灸師は必要とされる人材になることがテーマであるという兵頭先生のお言葉にしみじみも尽きるのだなと思いました。不足する介護従事者の人員を少しでも増やすために鍼灸師の頭数をあてがうような、そんな結末を万が一迎えるようでは未来の医学は何も変わらないと思います。多職種連携のなかで、鍼灸は医学的アプローチに位置しますし、一方でケアもキュアもサポートできるという点では介護福祉系との密接な協力が不可欠であり、従来のケアのチームワークを乱す邪魔者にならぬよう学ばねばならないことがあるとは理解しますが、チームでの統一したアプローチに中医理論が含まれること、そして介護従事者にもその理解（鍼灸は介護の負担を減らす未来を描けるという部分）が進むことも同様に必要であると思いました。総じて、鍼灸の効果を啓蒙・普及することがいかに急務かということですので、本講座ではホームドクターにはできないことが鍼灸師にはできるというメッセージや鍼灸を中心に据えた多職種連携をすすめたいとの展望が医師によって語られているところ、鍼灸治療の有望性とその点での鍼灸師への期待感を謹んで学ばせていただきました。

3	<p>3年生の「社会はりきゅう学」を担当しており、高齢者に対する鍼灸治療の1つとして「認知症、を取り上げ、座学1コマ、実技1コマで授業を行っています。その参考になればと思い、今回受講させていただきました。以前、グループ内の特養で機能訓練指導員(あん摩マッサージ指圧師として)をしていましたので、その当時のことを思い出しながら拝見させていただきました。</p> <p>今後、鍼灸学校での卒前教育に使用できる資料や動画、パワーポイントなどを提供していただけることを期待します。</p>
6	<p>難しいと思いますが、実際に患者さんに治療している動画があればすごく参考になります。</p>
7	<p>東洋医学 1年生のこの時期でも理解しやすく素晴らしかった 要望 URL が分かれ過ぎててわずらわしい 音声小さい</p>
8	<p>私自身が 99 歳の父親と 89 歳の母親(2 人とも認知症、母親はやや軽い)と同居で介護をしています。この講座で勉強させていただいた事は大変参考になりました。両親への接し方を考えさせられました。学校のクラスメイトに介護施設で仕事をしている者がいますので、その人を通して、介護現場の実情をもっともっと勉強していくようにします。そして国家試験に合格した暁には認知症の専門鍼灸師になれるよう頑張ります。</p>
9	<p>マイクの拾い方</p>
10	<p>自分の好きな時に受講でき、復習も自由にできるところとテキストがあったのでとてもわかりやすかったです。 シリーズが増えるともとてもありがたいです。</p>
11	<p>西洋医学・介護福祉・鍼灸医学各業種まとめて受講できることで、認知症に関する連携の必要性、それぞれの立場からのアプローチではなく、考え方の共有が重要と知り非常に有意義でした。</p>

12	<p>実家が田舎なので、幼い頃から認知症の人には多く接してきました。祖父母の認知症は特に悩まされた部分があります。その経験から「認知症は治らない」と思っていたのですが、こういった接し方や治療法(緩和法)があるのだと知ることができて、本当に良かったです。</p> <p>私はまだ鍼灸学校の一学生ですが、今後自分に何ができるのか、何をしたいのか、毎回の授業も意識を変えて取り組もうと感じました。</p> <p>こういった内容を、座学だけでなく実習等の現場でも学べたらと感じました。鍼もなかなかできない状況もあるでしょうし、言葉の掛け方ひとつでも状況に合わせて違ってくると思います。</p> <p>ただ、とてもいい内容だったのですが、細かく分かれすぎていて観辛いと感じる部分は何箇所もありました。それぞれの講義を1本ずつまとめていただいたものがあったもいいのでは？と感じる部分があったことだけが残念です。</p> <p>今後の超高齢化社会に向けて、こういった情報をどんどん配信していただけたら非常にありがたいです。今回は本当にありがとうございました。</p>
13	<p>とにかくスライドが見にくい。画面が薄い、全てが映っていない等不備が多すぎる。スライドがよく見えない場面もあった。【西洋医学系講座】2の途中(1分あたり)で音声がおかしい箇所があった。</p> <p>だが、一番気になったのは【介護福祉系講座】1-1の中で日本人がノンバーバルな表現が苦手という言葉である。</p> <p>日本人は顔の凹凸が少ないため「大雑把な表情」という点では苦手であるが、「細かい表情」の作り方が容易であり、他の文化より繊細であるといった説もあります。細かい表情、雰囲気から判断してるため、高齢者だからと大雑把なジェスチャーを用いてしまえば、日本人からすれば「演技してて胡散臭い、キザっぽい」と一歩引かれます。</p> <p>実際、高齢者はよく人を見ています。はたして、オーバーなノンバーバルなジェスチャーを重視する必要はあるのだろうか。</p> <p>日本人が「日本人がノンバーバルが苦手」という場合、ほぼ欧米と比較してである。欧米崇拝が悪いとは言わないが、優劣ではなく文化の違いと判断した方がいい。講師の方も悪気なく言った言葉だが、マスコミがよく言う日本批判と取られかねない表現であった。(その前にドイツ・スウェーデンを出したのがそれを助長した)そこは注意したほうがいいと思う。</p>

西洋医学系講座について

急に音声が小さくなって講義内容が聞こえにくくなったので改善していただきたい。

「認知症の中核症状と周辺症状」のスライド1枚で17分先生はしゃべられている為、何が重要か理解しがたい。

「MMSE」の質問項目について、ヒントがあっていない為、文字の判別ができない。映像ではスライドがあるが、頂いたテキストにはスライドが入っていないものがあった。

「アルツハイマー型認知症の臨床症状の経過と塩酸ドネペジルの効果」→「長期投与はどこまでしてよいか？」の間

「塩酸ドネペジルで改善が認められた具体的な変化」→「対象患者と施術回数」の間

「三焦の鍼法による治療効果(QOL)」→「老年症候群」の間

鍼灸医学系講座について

「高齢者が持つ疾患」(猫)のスライドが1枚多い。

「高齢者が持つ疾患」(五臓)のスライドは、講義では真ん中に並んでいる東洋医学のキーワードが右端になっている。

「認知症患者に寄り添う中核的鍼灸専門人材の育成」について」の「まとめスライド」についての話が無い。

14

「介護福祉系分野」について

最後の質疑応答の受講生からの質問内容がまったく音声が拾えていなくて聞こえなかった。

動画全体について

背景の色が、青、緑、赤と微妙に変化してしまうのは、スライドを動画で撮影している関係上しかたがないのかもしれませんが、目が疲れます。

画面上を横切る人が何カ所かで映っており、気になります。

動画の区切り方が17分のものから、2・3分のものまで長短の差が大きいと感じました。

内容の区切りもありますが、10分前後になるような区切りでもよいのではないかと思った。

2・3分だと、集中して見始めたら、講義が終わってしまうものもありました。

いろいろ、気になった点を書かせていただきました。

この実証講座を広く、医療系の方に受講いただく場合は、動画の質を上げておかないと、受講生から、いろんな意見がでると思い書かせていただきました。

内容自体は、非常に分かりやすく、大変勉強になりました。

認知症に対する、コミュニケーション技法、西洋医学の現状、鍼灸治療の可能性について今後に生かしていきたいと思います。

	<p>受講させていただき、大変有意義でした。 ありがとうございました。</p>
15	<p>鍼灸治療のみに片寄らず、皆でサポートして個人が一番その人らしい時間を過ごせるお手伝いがしたい。そのように考える方々がいっぱいいること知った。本当に素晴らしい。私も兵頭先生に勉強を教わりたかった。 人間力も備わった先生方に学べる機会を与えていただき本当にありがとうございました。</p>
16	<p>以前介護保険関係の仕事をしており、認知症の方々や介護職の方、ご家族と接する機会が多くあり、その時の経験が鍼灸師になりたいと思ったきっかけの一つだったので、今回の講座はとても興味深く、受講できて本当に良かったです。西洋医学、東洋医学、介護福祉の分野のそれぞれの知恵を持ち寄ることで認知症の方や周りの方の悩みや苦しみを和らげることができると思いました。多くの認知症の方々が鍼灸治療を受けることはすぐには難しくても、今回の講座の内容を知るだけでも、日々の介護や接し方のヒントになることがたくさんあり、どんどん広がってほしいと思いました。</p>
17	<p>各分野の具体的な症例や対応を動画などで観たいと思いました。 西洋系では、患者さんの見分け方やテスト法など 東洋系では、ラポール形成から実際の手技や鍼を刺すまで 介護系では、介助の仕方バリデーション、親族との接し方など 実際の動画があるとよりリアルに認知症患者への対応を感じることができます。 受講後に修了証など授与があると良いと思います。</p>
23	<p>これからの超高齢化社会の脅威を感じることが出来た。 鍼灸師が多職種連携をして活動する場を増やしていくことの必要性を感じた。 三焦鍼法を会得し、臨床に活かせる環境が欲しい。 バリデーション技法を臨床で活かせるよう会得したい。</p>
24	<p>専門の先生方の生の声を聞きながらの講座はとても勉強になりました。</p>

大変興味深く鍼灸の分野だけでなく、介護・西洋の分野もおりませでの講習で今まで思っていた事との違いや改めて思った事もありとても勉強になりました。しかもインターネットで受講出来ることは何より有難いことです。講習会は殆どが遠方であり受講したくても時間や交通費用等で困難な場合が殆どでいつも近い方を羨ましく思っていました。今回のお話は本当に有難く受けさせていただき感謝でいっぱいです。

私は以前から認知症の方の治療には興味があり、現在鍼灸科で学生として学んでいます。前職を歯科衛生士として認知症の方の口腔ケアで接する事がありました。その時に感じていたことは、認知症の方のケアはもちろんですが介護する方の心身のケアも行いたいと思っていました。と言うのも私自身が子供の頃は祖母が昔は老人ボケと言われていましたが、今で言う認知症でもあり様々な症状も見てきました。現在父がアルツハイマー型認知症も患っています。その介護に母が全面的に行っていますが、その苦勞はどれ程のものかと思いません。

なので以前歯科に勤務していた時にいつも認知症のお母様を連れてみえていた方が来院され診療されたのですが、その時認知症の介護のつらさをお話され、その中で「死ね！と思ったりする」と言われたのですが、私にはその気持ちがよく解りました。そして最後に聞いてもらってありがとう、夫や兄弟姉妹にも理解してもらえず誰にも話せずいたので気持ちが楽になったと涙を流して感謝されました。しかし、その言葉を聞いていたスタッフ達は陰で口々にひどい！と言っていたのをしり、悲しくなりました。

確かに認知症の方と長い期間接していないと理解できず、ただほんのひと時の認知症の方を見ただけでは、かわいいおばあちゃん・おじいちゃんに映ると思います。なので講習のお話の中に周囲の理解もとても重要であると思いとて共感しましたし改めて思いました。

そんな事もあり、認知症の方の治療とともに、介護を行う方の心身の状態も診ていけたら認知症の症状もよい方向に変わったりするのでは？とも思っています。自分自身もですが、こちらがイライラした態度で接すると相手もますます感情的になり、解っているのですが自分の感情も止められなかつたりします。よく介護する側も優しくと言われますが、特に長期になると、なかなかコントロールが難しいと思います。

なので、認知症の治療プラスその症状に合わせた介護の方の治療も出来たならばと思います。

	<p>認知症の症状が良き方向へ改善されると介護の方も楽になるのが最善であると思いますが、それに合わせて介護者の方には鍼灸でどのような治療をしてあげると介護が少しでもスムーズに行えるかも知りたいと思います。</p> <p>支離滅裂な文章になりましたが、読んでいただきありがとうございました。</p> <p>まだまだ学生で不勉強だらけですが、遠方でも受けられるこのような機会をもっと増やしていただければ幸いです。</p> <p>ありがとうございました。</p>
26	<p>貴重な勉強をさせて頂き誠にありがとうございました。</p> <p>大変難しいとはおもいますが、動画や講習会等で実際に認知症患者に行っている所を見て変化を目で確認出来る場があれば嬉しいです。</p>
27	<p>大変興味深い内容ばかりでした。</p> <p>症例をあげ、それに対する流れを教えていただけると大変ありがたいです。</p> <p>(診察や治療だけでなく、患者さんやそのご家族の対応、他の職種との対応なども)</p>
28	<p>認知症に対応するには、もはや今までの方法では限界があり、その状況の中で鍼灸が果たす役割が大きいと感じました。認知症に対応するだけでなく、現行の破たん寸前の社会保障体制の本治の意味合いからも鍼灸治療が広く社会に認知され、医師、介護職をはじめ、他職種連携する必要性がとても大きいと感じました。</p> <p>中医学や鍼灸の知識・技術を習得し、実際に治療に当たると同時に、社会保障体制維持にかかわる枠組み再構築の検討にも関わりたいと思いました。</p>
30	<p>貴重なお話を聴かせていただきましてありがとうございました。</p> <p>介護の現場で鍼灸マッサージ師として認知症ケアに携われたらと考えているので、三焦鍼法のお話など大変興味深かったです。</p>
31	<p>三分野共に簡潔でわかりやすかったです。しかし西洋医学における OLD、FAST、老年症候群、また介護分野におけるバリデーションなど、一步踏み込んだ知識への理解にはつながりませんでした。認知症の専門になるためには内容にボリュームがあってもよいのではないかと思います。</p>

32	<p>現場に立たれている先生のお話は大変為になりました。</p> <p>しかし、動画にする利点を感じられませんでした。テキストが在るのなら、同じ資料をピンボケした動画にするよりも、先生を中心に撮って頂いた方が解りやすいですし、説得力があります。今回のような動画でしたら、音声のみの配信の方が解りやすいと思います。残念ながら、動作不良も多くみられました。音声は聞けましたので、最後まで受講いたしました。講座の内容は大変為になりました。今後このような講座がありましたら受けたいと思います。</p>
33	<p>鍼灸あん摩指圧マッサージ師が社会に貢献できることを積極的に世間にアピールしていかななくてはならないと強く感じました。しかし、鍼灸あん摩指圧マッサージ師が単独でできることには限界があり、他職種連携が必要です。現在の卒前教育では国家試験合格の為の教育になっています。職業訓練校として本来あるべき姿は国家資格取得後に社会に貢献できるための教育なのではないでしょうか。社会に求められている鍼灸あん摩指圧マッサージ師としての役割を理解しながら多職種連携の中で活躍できればと思いました。今後、他職種連携の方々とお仕事を共にするうえで他職種の職務内容を理解することや多職種によるミーティングへの参加などが重要になると感じました。また、現在臨床教育専攻科に通学しているため鍼灸あん摩指圧マッサージ師として活躍できる可能性や多職種連携において必要な知識や考え方も伝えられるような教員になる事の重要性も感じました。本講座にて登壇された先生方の活動を更に発展していける様に鍼灸あん摩指圧マッサージ師として日々活動していきます。</p> <p>最後に、この度は貴重な学びの機会を提供して頂きありがとうございます。臨床教育専攻科の学生として社会に貢献できる鍼灸あん摩指圧マッサージ師になることや育成に携われるように日々努力を積み重ねていきます。今後ともよろしくご願ひ致します。</p>
34	<p>自分のペースで進めることができますが、動画での視聴は記憶に残りにくいと感じました。今回の受講が一回きりのものだとするなら、詰め込みすぎな印象です。その場限りの理解で終わってしまいそうだと感じました。</p>
35	<p>西洋医学講座しょっぱなで三焦鍼法のワードが連呼されていると三焦鍼法ありきの講座というイメージを強く持たざるえなかった。そこを少し抑えると他の流派の鍼灸師も入りやすいのではないかと感じた。西洋医学部分、東洋医学部分ともにとてもよくできているので、最初は三焦鍼法の影を薄めてもらって、後半に三焦鍼法を強くイメージさせるほうが効果的ではないかなと思った。認知症への取り組みは大切だと考えるので、こういう講座は必要だと思った。</p>



36	<p>27年度の受講を希望していたのですが諸事情によりかなわず動画とテキストでないように触れる事が出来て大変感謝しております。</p> <p>作成編集の手間はかかりますがスクリーンを録画したものではなく直接パワーポイントのスライドを動画にし、講座中の講師の先生の音声を載せていく方が画面が見やすい・理解しやすいと思います。</p> <p>スクリーンを固定で録画しているので講師の方の身振り手振りが見えず、タクティールケアの実際について言わんとしているところは分かるのですが具体的に把握しにくかったように思います。</p> <p>ですのでDVDや動画配信の際には実際に施術している状態の動画をさしこんでいただければより良いのではないのでしょうか。</p> <p>介護分野のテキストでバリデーションの技法(23)のスライドですが『⑩たされていない人間的欲求』は『⑪満たされていない人間的欲求』の脱字かと思います。</p> <p>鍼灸師である私にとってふれた事のある分野である東洋医学系は分かりやすく、ふれた事のない分野である介護系の理解度が相対的に低くなっています。</p> <p>テキストや講義がわかりにくいのではなく受講者である私の介護・認知症の方への予備知識の低さがイメージしにくい状況を作り出していると思います。</p> <p>一度ケアマネージャーの試験の勉強をしていたことがあり、その予備知識があったのでまだわかりやすかったのですが</p> <p>一般の若い鍼灸師の方ですと社会における介護分野の役割や仕組みがまったくわからないので多業種連携のイメージがしにくいかもしれません。</p> <p>西洋医学分野については学校のカリキュラムで予備知識があり、理解はしやすいと思います。</p> <p>望ましいのは養成校でのカリキュラム内で介護分野について一般常識として簡単に(市役所で配布される介護保険の使い方のパンフレット程度)ふれるのを標準化する事だと思っておりますが</p> <p>現状がそうではないので介護についてまったく触れた事のない受講者の方には事前にそういった事を軽く伝えておいてもいいかもしれません。</p>
37	<p>認知症講座は以前受講したいと思いましたが、仕事によって都合がつけられず受講できませんでした。今回のように動画配信があれば、時間を見つけて受講することができますし、聞き逃してしまったところや、すぐ理解出来なかったところを繰り返し再生できるのでとても勉強しやすかったです。</p>
38	<p>全体的に動画に見づらさがありましたが、資料も用意してくれていたもので、資料に目を通してから動画を見ることができ、理解を深めることができました。</p> <p>症例がもう少しあると、より分かりやすかったかなと感じました。</p>

	<p>勉強会は土日に多く、勉強会に参加したくても仕事の関係であまり参加できないので、こういった機会があるのはとてもありがたかったです。</p> <p>地元の栃木の自治医大病院でも鍼灸を取り入れていることを知り、とても興味があったので、東洋医学と西洋医学の連携を垣間見れたようでとても勉強になりました。</p>
39	<p>鍼灸師に求められる認知症の方々へのケアは、書面上の三焦鍼法の知識や西洋医学的、介護に必要な知識だけでなく、いかに現場でケアにあたった時に対応が出来るかどうかの実践的な知識も必要であると思いました。なので前段階としてこのような分かりやすく説明してある講義は必要不可欠であると感じました。</p>
41	是非ゴールドキューピッドを取得したいと思った
42	以前から、きちんと受講したいと思っておりました。ぜひ九州地区での開講をお願いいたします。
43	実際の認知症の患者さんとのコミュニケーションをとる介護や鍼灸の施術の動画が見たいです。
44	勉強させていただきました。 ありがとうございました。
45	<p>東洋医学系の講座の中で、細かく言うと、使用する鍼の種類、太さ、長さ、また施術方法として単刺術なのか置鍼術なのかそして使用した経穴名などを症例報告の中に入れて欲しい。(三焦療方の基本穴は書かれていたが)</p> <p>今回三焦療法を勉強する機会を持てたことに感謝します。</p>
46	<p>認知症対応型のデイサービスで働いています。</p> <p>利用者の方も軽度の方から重度の方までいらっしゃいます。</p> <p>今回の講座で対応の方法や、認知症について詳しく分かり臨床の現場で役立つ事も多かったです。</p> <p>また、このような機会があれば、参加したいと思います。</p>
49	カメラのシャッター音が連続しており気になった。マイクの音声聞き取りにくい部分が多かった(特に質疑応答)。初学者に対しても理解し易かった。
50	分かりやすい文章や言葉で説明していたので、受講し易かった。短い映像に分けて、短時間でも一コマで吸収できる工夫は良かった。

51	<p>たいへん勉強になりました。受講させて頂きありがとうございました。</p> <p>認知症の方・高齢者への接遇は、特別な配慮が必要になりますが、それはご高齢の方に限ることではなくどの年代の方へも応用できます。今回、技術・知識的なことを高めたいと受講させて頂きましたが、You Tube 動画で先生方の講義から接遇の「心」の部分をも学ばせて頂いたように感じます。</p> <p>子育て、鍼灸臨床、教育(鍼灸学校非常勤講師)、家事と日々過ごしておりますが、動画配信によるセミナーは受講の時間を自分でコントロールでき、また今回のように10分前後に編集されている各コマは隙間時間に受講できるので、たいへんありがたく有益でした。</p> <p>どんな時も最後まで人生を輝かせることができるよう、来院くださる方の一助になる鍼灸施術を、これからも高めていきたい、受講後に改めてそう思いました。</p> <p>セミナーの先生方、編集くださった関係の方々に感謝申し上げます。</p> <p>ありがとうございました。</p>
52	<p>鍼灸の施術よりも患者さんとの接し方がとても重要だということがよくわかりました。その為にも認知症に対しての知識や理解が必要だと感じました。</p>
53	<p>三焦鍼法である必要性が少しわかりにくかった。</p> <p>基準としての三焦鍼法ということなのか、要穴を個々人に合わせて打つということなのか。</p> <p>ゴールドキューピットプランの受講をしていないので、その点は今後の受講の機械などでわかってくるのかもしれないと感じた。</p> <p>動画視聴の簡略化がもう少しあると良いのかもしれないと感じた。</p> <p>西洋医学的講座がよく分かった。</p> <p>介護に対しての講座が今後自分でしっかりと勉強していかなければいけないと強く感じた、介護の医療現場を知らないという事が実経験の少なさのため内容が非常に自分にとっては難しかった。</p> <p>一番重要なことは介護というか、コミュニケーションの力をどうつけるかだなと改めて感じた。</p> <p>介護の研修をある程度以上のこなして、コミュニケーションを正しくこなせないと、逆に患者さんの不利益になってしまう事を実体験として体感する必要性を感じた。こういう介護に対する実践的な研修場がなかなか個人では作れないので、その機会をどう得るかは難しいと感じた。</p>

54	<p>この度は貴重な講座を受講させていただき、ありがとうございました。</p> <p>受講前は、学生の私に理解できるものかと心配していましたが、学生の私でも十分に理解できる内容でした。私は鍼灸学生ですが、東洋医学系以外の西洋医学系、介護福祉系の講座も共に学ぶことによって認知症についてより理解できました。</p>
55	<p>今回は有意義な講座を紹介いただきましてありがとうございました。</p> <p>天津中医薬大学にも留学しておりましたが、留学前には醒脳開竅法についてしか情報がなく、留学期間を醒脳開竅法の勉強に終始しておりました。</p> <p>帰国直前になり韓景献先生の臨床外来を見学させていただき、韓先生ともいろいろと話をする機会が持てたことで、初めて三焦針法のことを知りました。</p> <p>三焦針法についてももっと深く知りたいと思いましたが、時すでに遅く帰国の時期が迫っておりましたので、心残りながら帰国しました。</p> <p>こういった経緯がありましたので、今回三焦針法の端緒だけでも触れることができ、非常にありがたく感じました。</p> <p>できることなら、具体的な手技や操作を学ぶ機会が続けばありがたく思います。</p> <p>脳卒中後遺症や認知症の患者に対して治療を行っていく際には患者を取り巻く人たちとの連携がいかに重要であるか、また鍼灸師が果たすことのできる役割がなんであるかを他の医療系職種の人たちに理解してもらうことの必要性を改めて考えました。</p> <p>引き続きこの分野について勉強していきたいと思しますので、今後ともよろしくご指導ください。</p>
56	<p>動画もコンパクトにまとめられていて、大変分かりやすく学習することができました。</p>
57	<p>専門の先生方による貴重なお話を伺い、認知症の現状や鍼灸師としての対応の仕方、またその考え方などを深く知ることができ、とても関心が持てました。より深く勉強をしていく必要性を感じています。今回のような動画配信ですと、聴講の時間を作りやすく、気軽に受けることができるので、今の私にはとてもありがたかったです。このような機会をいただくことができ、感謝しております。ありがとうございました。</p>
61	<p>時間がなく、あまり見れなかった。春休みや夏休みのような時ならもっと見れたと思う。</p> <p>期末試験や臨床、課題提出におわれ見れない時期もあるので試聴期間が長ければ理解して見れたと思う。</p>

62	<p>超高齢者社会における鍼灸の有用は高いと確信しています。今回、受講して更にそう感じました。本講座は、卒前レベルの方でも理解しやすい内容でした。講義時間数は5コマ以上あれば良いと思いました。実習を含めると、15コマは必要と思います。今回の活動は非常に意義があることで、全国に広がることを願っております。このような機会を与えていただき、感謝しております。ありがとうございました。</p>
64	<p>往診で鍼灸施術を行っていて、認知症の方の治療もしているのですが、高齢者や介護に対しての知識があるわけではなく、不安を持ちながら施術をしていました。今回のセミナーを受けて、認知症の方との接し方、すべて理解できたわけでは不是ですが、こうしてみよう、こう話しかけてみよう、といろいろ考えられるようになりました。</p>
65	<p>地方ではこのような講座を聴講することが困難なため、このような講座はとてもありがたいと感じた。できれば介護施設や臨床など実際の映像もあればよかったと思う。</p> <p>また、内容の割には時間が足りなかったような感じがする。もっと時間を取って各項目の内容を充実してほしい。</p> <p>できればまた機会があれば受講したいと思う。本当にこのような機会をいただき心から感謝を申し上げる。</p>
68	<p>新オレンジプランにおける認知症対策は国をあげて取り組むべき要件となっていると思います。</p> <p>鍼灸が貢献するための基盤づくりを卒前教育のカリキュラムに取り入れて、全ての鍼灸師が対応できる体制を作り上げる必要があると思います。</p>

平成27年度文部科学省委託事業  
 成長分野等における中核的専門人材養成等の戦略的推進事業  
 超高齢社会における認知症患者に寄り添う  
 医療・介護連携型の中核的鍼灸専門人材の育成プロジェクト

## 成 果 報 告 書

【発行日】平成28年2月14日

【発行者】「中核的鍼灸専門人材育成プロジェクト」実施委員会  
 学校法人後藤学園 東京衛生学園専門学校  
 〒143-0016 東京都大田区大森北4-1-1  
 TEL 03-3763-6621 FAX 03-5763-7303

※本書の内容を無断で転記、記載することは禁じます。